

インボイス制度 適格請求書発行事業者

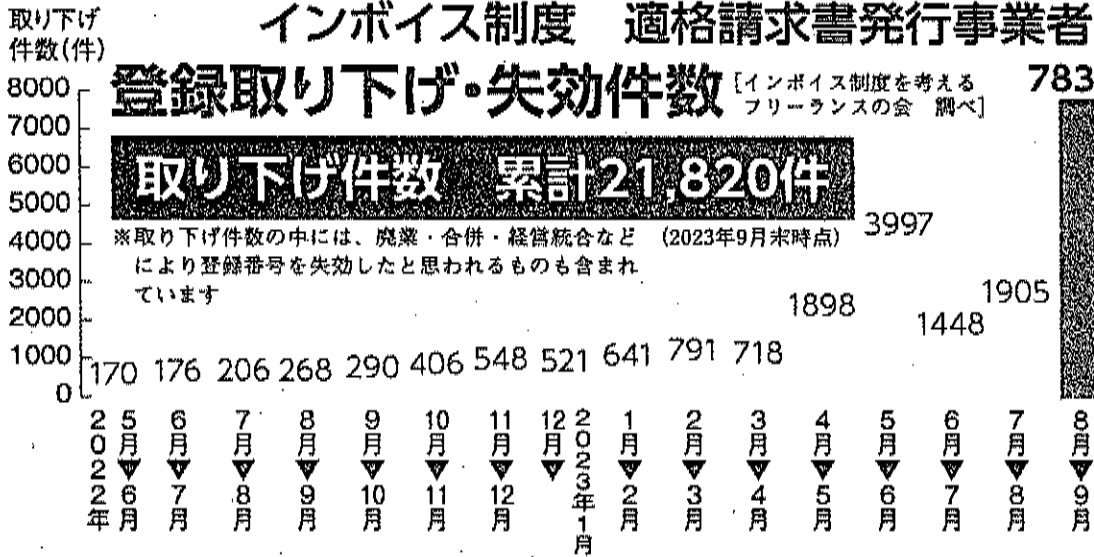
登録取り下げ・失効件数

[インボイス制度を考える
フリーランスの会 調べ]

7837

取り下げ件数 累計21,820件

※取り下げ件数の中には、廃業・合併・経営統合など
により登録番号を失効したと思われるものも含まれ
ています



インボイス登録取り下げ・失効

現場混乱 9月 7837件

消費税のインボイス（適格請求書）制度で、登録取り下げ・失効件数が制度実施直前の9月だけで7837件と急増し、累計2万1820件（9月末時点、グラフ）に達したことが「インボイス制度を考えるフリーランスの会」（STOP！インボイス）の調査でわかりました。

STOP！インボイス調査

調査は、国税庁「インボイス制度適格請求書発行事業者公表サイト」のデータを基に、2022年5月以降の当月と前月の登録番号を全件（23年9月末時点の登録件数378万4612件）比較。前月に登録されていた番号が当月になくな

注側に頼まれていったんは登録したものの考え直したこと、経過措置の間の様子見、政府側の説明不足を挙げています。「インボイスは少なくとも、いったん止めて、現場の混乱を検証し、制度としてのほころびがあるのであれば、政府には勇気を持って『中止・廃止』の決断をしてほしい」としています。

免税業者がインボイス登録をすると、課税業者になって消費税を納税しなければならず、事務負担が増大します。免税業者のままでも取引先から値引きや取引中止を迫られます。